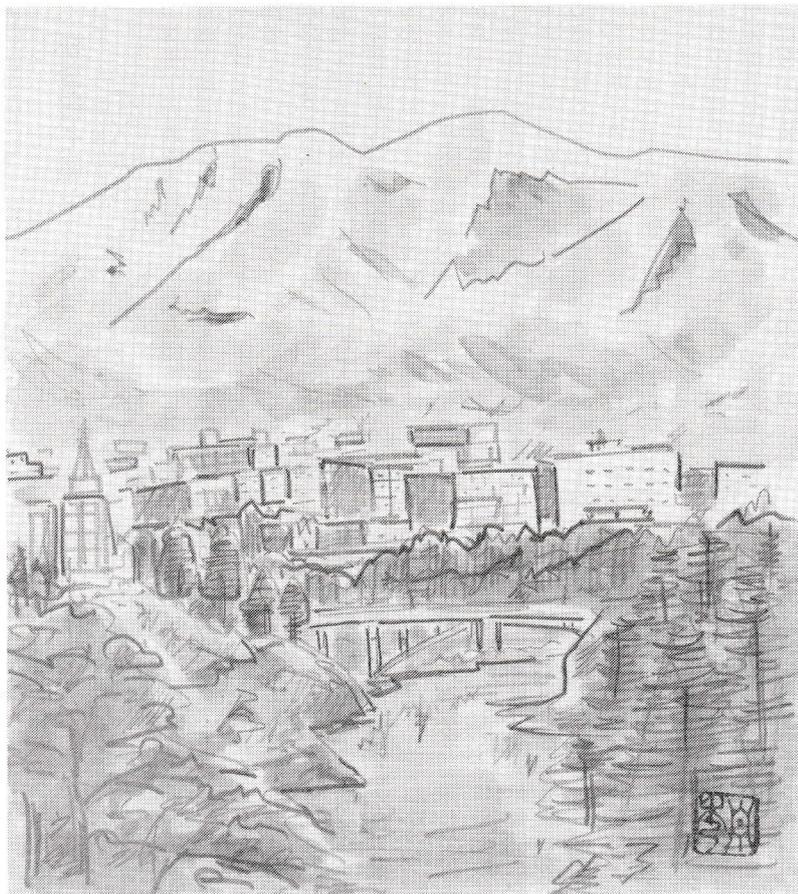


電友会四国連合会報

第 58 号

62. 4



目次

NTT情報	二
新電報そ通システムを導入	二
NTT四国パソコン通信センターを開設	三
総合通信システム担当を新設	三
クレジット通話サービスを自動化	三
NTT人事異動	五
余 栄	五
訃 報	五
表紙のことば	五
共済会だより	六
電気通信協議会入会のおすすめ	七
随 筆	七
猪谷嘉夫 岡田恂三 河野幸雄 門屋俊春	
近藤寿一氏著「わが道」を読んで 穴吹義教	九
編集後記	九

NTT情報

新電報そ通システム

(テキサス)の導入について

NTT四国総支社では、現在使用している電報の送受信システムに替えて、すでにデータ通信に利用中のデジタルデータ交換網を利用した、新電報そ通システム(TXAS... Telegram Exchange Automated System)を六二年三月からサービス開始しました。

現在の電報中継交換設備は、昭和二八年に導入された紙テープ中継交換方式を使用しており、長い年月を経過したため老朽化したことや、「電文に漢字を使用して読みやすくしてほしい」といったお客さまの要望にお応えできるようになるため、今回新しいシステムに切り替えることとしたものです。

この新システムは、東京、大阪に設置しているコンピュータ(電報自動処理装置)とデジタルデータ交換網を利用し、ディスプレイ型の電報受付入力装置から入力した電報を、電報配達受託者宅等に設置しているプリンタ(電報出力装置)へ直接出力するものです。

(別図参照)

電報は、明治二年のサービス開始以来緊急時の通信手段として利用されてきましたが、近年電話等の通信手段が普及したことにより緊急時の通信手段としての役割は少なくなっており、最近では入学、卒業、結婚、悔み等人生の節目における慶弔電報としての利用が主となっております。

このようなことから、テキサスの導入に伴い四国では一か所の結婚式場へプリンタを設置し、お祝い電報を直接配達できるようにしたものです。

テキサスの主な概要は次のとおりです。

一、サービス開始月日

昭和六二年三月四日(水)午後九時二五分

二、導入地域

四国全域に導入しました。

なお、全国の導入状況は別紙のとおりです。

三、電報取り扱い上の変更点

(1) 慶弔電報にはカタカナ漢字まじり文も使えるようになりました。

「電文に漢字を使用して読みやすくしてほしい」とのお客さまの要望にお応えするため、テキサス導入地域間に発着する電報で、NTTが用意した慶弔用文例(一三四種類)の文例番号でお申し込みいただいた電報については、文例部分をカタカナ漢字まじり文に変換してお届けするようになりました。

(2) 縦書き形式から横書き形式に変わりました。

従来の縦書き形式から横書き形式になりました。

(3) 一一五番の受付方法が変わりました。

一一五番へお申し込みの際は、お客さまの電話番号とお名前を言っていたいた後、一旦電話を切ってくださいとNTTから呼び返してお客さまのご注文をお聞きする方法になりました。

別紙

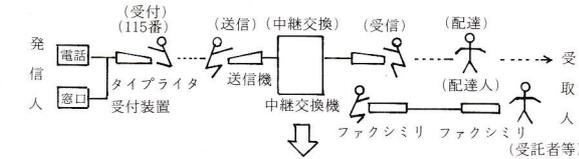
全国のテキサス導入状況

導入時期	導入県等名
61・3・10	北海道、石川、富山、福井、栃木、山梨
61・9・24	広島、岡山、山口、鳥取、島根
61・11・26	千葉、茨城、愛知、三重、静岡、岐阜
62・2・18	熊本、長崎、福岡、大分、佐賀、沖縄
62・2・25	宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島
62・3・4	東京、神奈川、埼玉、群馬、長野、新潟
62(予定)	愛媛、香川、徳島、高知、奈良、滋賀
62(予定)	和歌山
62(予定)	大阪、京都、兵庫、宮崎、鹿児島

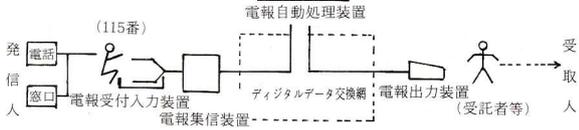
別図

電報そ通形態新旧比較

・現行そ通形態



・新しいそ通形態



(1) 現行そ通形態
一一五番においてタイプライタで受け付け送信機で紙テープに変換し送信する。
(2) 着信局では印字テープで受信し、それを配達紙に貼付した後、受託者等にファクスにより送信する。

(新しいそ通形態)
(1) 一一五番において、ディスプレイ型の電報受付入力装置により受信し、キー操作により送信する。
(2) 電報自動処理装置において、あて名から該当配達区域のプリンタ(電報出力装置)を選定し、受託者宅等に設置されたプリンタに直接着信する。

NTT四国パソコン通信センター (愛称マドンナ)の開設について

— パソコン通信会員の募集 —

NTT四国総支社では、三月二七日(金)、松山市の「キャプテン愛媛」(松山市三番町六丁目八—三)内に社内連絡用のパソコン通信センター(愛称マドンナ・MADONNA)を開設することとしましたが、パソコンを使ったコミュニケーションの輪をより大きなものとするために、社外の方にもご利用いただくこととしました。

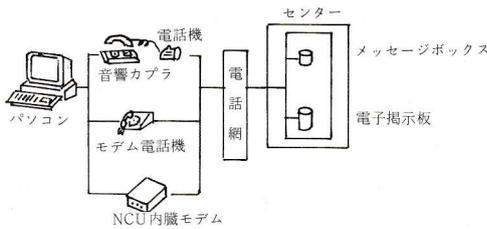
パソコン通信は、パソコンを個々に独立して利用する方法以外に、電話回線に接続することによってパソコン相互の通信を行い、パソコンをより効果的に利用するもので、このパソコン通信センターは、パソコン間の情報交換の中枢機能を果たすものです。

このパソコン通信センターでは、多数のメンバーに対してメッセージを送ることが出来る電子掲示板機能や個人間でメッセージの交換を行う機能があります。

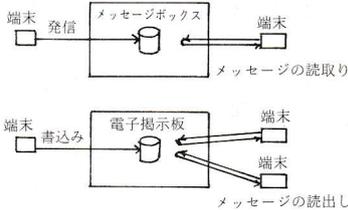
これらのメッセージは、一旦センターに蓄積され、いつでも好きな時間に取り出すことができることから、コミュニケーションの輪を広げる広場として、楽しく有効に利用することが出来るものです。(概要は別図参照)

NTT四国総支社では、センター開設に合わせて会員の募集を行い、社外の方でもパソコン通信に関心のある方、地域社会とコミュニケーションを考える方、パソコン通信でコミュニケーションを広げたいと考える方々などに、入会を呼びかけていくこととしていま

1 パソコン通信センターとの接続方法



2 サービス概要



す。

なお、会費は無料ですが、パソコン通信を利用したNTTからのアンケート調査にお答えいただくなどのご協力をお願いすることにしていきます。

また、より多くの方にパソコン通信に対する関心と親しみを持っていただくために、四月上旬にはパソコン通信セミナーを開催することとしています。

(入会手続等の連絡先)

パソコン通信を利用する際には、ID番号とパスワードが必要となりますので、入会手続をしていただきます。

連絡先—NTT四国総支社内パソコン

通信「マドンナ」の会

TEL(〇八九九)―四五一―一九七三

「総合通信システム担当」 の新設について

社会の情報化が進展するに伴い、各企業や自治体等の情報通信に対するニーズが高度化し、その通信システムはますます総合化の傾向にあります。

しかしながら、これまでのNTTでは、同一の企業等に対しても専用線やPBXといった商品ごとに営業担当者(通信コンサルタント)が対応しており、それらを通信システムとして総合的にとらえて、コンサルティングするという点に十分でない面が見られました。

そこでNTT四国では、企業等の通信システムについて、マン・ツール・マンスタイルでコンサルティングを行い、最適な通信システムを提案する「総合通信システム担当」(課長クラス)を三月五日付で新たに配置しました。「総合通信システム担当」部門は、当面約六〇名体制とし、県別にそれぞれの支社等に配置して、積極的かつきめ細かいお客さま対応をしていくこととしています。

「クレジット通話」サービスを自動化

— お安く、便利に —

NTT四国総支社では、二月一六日(月)から東京について四国管内の「クレジット通話」サービスを自動化しました。

「クレジット通話」サービスは、電話料金をお支払いいただく方の電話番号を契約であらかじめ指定していただき、出先などからかける通話料金をその指定した電話の料金に含めて後日請求させていただくものです。

NTT人事異動(敬称略)

北条 電報電話局長 (六二・二・一〇)
 森 幸義
 宮岡 利行
 首藤 尚隆
 小田 尚見
 水本 敏次
 進本 九二雄
 武井 一策
 青木 弘
 伊藤 隆
 資延 和夫
 伊藤 和夫
 澁谷 工
 合田 俊彦
 中村 一也
 小野 誉富
 谷柳 精
 一柳 善起
 平井 善起
 久保田 元
 廣瀬 成男
 栄枝 英夫
 三木 敏弘
 (六二・二・二〇)
 渡部 操
 (六二・三・五)
 重松 幸雄
 伊予吉田 同

余 栄

ご逝去されました左記の方々に対し、
 電気通信事業に貢献されましたご功績
 により叙勲が行われました。

- 故 山 中 武 雄 殿 (松山) 勲六等瑞宝章(六一・五・二三)
- 故 山 内 正 一 殿 (徳島) 正七位勲六等瑞宝章(六一・五・二五)
- 故 木 内 正 一 殿 (徳島) 正七位勲五等瑞宝章(六一・八・二八)
- 故 福 家 辰 次 殿 (高松) 勲六等瑞宝章(六一・九・一四)
- 故 田 井 芳 信 殿 (松山) 正六位勲五等瑞宝章(六一・九・一九)
- 故 岡 昇 殿 (高松) 正七位勲六等瑞宝章(六一・〇・六)
- 故 佐 賀 茂 吉 殿 (松山) 正七位勲六等瑞宝章(六一・二・二)
- 故 四 宮 正 之 殿 (徳島) 従六位勲六等瑞宝章(六一・一・二七)
- 故 山 下 茂 殿 (佐川) 従六位勲六等瑞宝章(六一・二・三)
- 故 三 野 季 好 殿 (坂出) 正七位勲五等瑞宝章(六一・二・四)
- 故 桑 山 勇 夫 殿 (松山) 正七位勲六等瑞宝章(六一・二・七)
- 故 田 部 孟 殿 (松山) 正七位勲六等瑞宝章(六一・二・三二)
- 故 山 下 亀 勢 殿 (高知)

訃 報

次の方々が逝去されました。謹んで表
 悼の意を表しご冥福をお祈り致します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
山下亀勢殿	61・12・31	七十二	高 知
弓立秀雄殿	62・1・18	六七	高 松
佐藤藤三郎殿	62・2・8	八五	高 松
香西伊三郎殿	62・2・16	六九	高 松
岩崎現市殿	62・2・17	七〇	善 通 寺
大森清一殿	62・2・28	七四	松 山
工藤健次殿	62・3・4	六一	高 松
福田義夫殿	62・3・10	八三	善 通 寺
荒井又市殿	62・3・11	八六	高 松
谷 信雄殿	62・3・22	七六	高 松

表紙のことは

莊野 丹秀(内海)

「鬼怒川温泉」

雪国が見たくなって旅に出た。

伊東―花巻―秋保―飯坂―鬼怒川、と。

そしてNTT碧流荘で「ともがき」に画

いた私の表紙絵に出会う。こんなに遠く

に来て自分の絵を旅先で見るとはとても

懐かしい。浅虫保養所に買上げてもらっ

た絵のことをふと思いつく。

旅のつれづれ。 六二・一・一六

ねたきりの方の介護者のために

共済会だより (三十七)



家庭介護施策の拡充内容

種類 概要	現行の家庭介護給付金	① ねたきり老人等がおり、介護人の疾病等により介護に支障を生じた場合の家事援助	② 単親(母子、父子)世帯に対する家事援助
対象世帯	NTT等現職者、退職者、遺族の世帯	現行に同じ	NTT等現職者、退職者、遺族の世帯(母子世帯の母又は父子世帯の父)
内容(料金)等	家政婦を雇用した場合の利用料金相当額	現行に同じ	日常生活の援助と保育(家政婦雇用費用に対する援助)
派遣回数	1世帯につき週2回 半日単位	1世帯につき週2回 半日単位、3か月以内	左に同じ
援助の要件	(1)世帯収入が生活保護法に定める最低生活費の2倍までの世帯 (2)日常の大半について常時介護を必要とするがそれが十分行われていない上記対象者又はこれらの子、もしくは父母がいて、次のいずれかに該当すること。 ア 重度障害者(児)又は重症障害者(児)であって、18歳以上のもの。 イ 原則として、65歳以上のものであって老衰等が著しいこと。	(1)世帯収入(左に同じ) (2)介護者の疾病等により5日以上にわたり介護に支障があること	(1)世帯収入(左に同じ) (2)上記の対象世帯の父又は母(家事援助<保育>者)が一時的疾病等のため5日以上にわたり日常生活に支障がある世帯で次のいずれにも該当すること。 ア 小学校6年生以下の子供がいること。 イ 義務教育を終了した子供がいないこと。
制度に追加	世帯収入が最低生活費の2.5倍までの世帯に対し、家政婦を雇用した場合の利用料金の1/2を給付。		

テルウェルでは高齢化の進行に伴ない「ねたきり」の方が急増している現状の中で、その介護にあたる方の負担軽減策と、あわせて「単親(母子・父子)世帯」の父、または母の家事等にかかる軽減策についても検討してまいりました。そしてこのたび左表のように「家庭介護施策」を拡充することにいたしました。詳しくは下記の福祉センターへお尋ね下さい。

単親家庭の父・母のために
家庭介護施策を拡充しました。
ホームヘルパー雇用費用の援助

お問い合わせ先

TelWel 四国支部福祉センター TEL(0899)32-9955

電氣通信協議会へ

入会のおすすぬ

全国電氣通信協議会

四国地方本部長 泉 節太郎

電友会の皆さん、お元気ですか、電友会では日頃皆さんから、いろいろご協力をいただいておりますことを、有難くお礼を申し上げます。

さて今日、私は、全国電氣通信協議会（以下協議会と略称）四国地方本部長という立場から、皆さんにお願いいたしたく、ペンを取った次第であります。

電電OBの中にも、すでに協議会にご入会いただいている方もありますが、そうでない方も多々ありますので、この際先ずこの会の概略について説明申し上げたいと思います。

この協議会が設立されたのは、昭和五十八年十一月でありました。当時すでに、電電公社の民営化がほぼ確定的になっておりましたし、この企業が民営化すれば、他の民間企業の新規参入によって、民営化するNTTは、それまでの独占的経営から参入企業との競争体制に入るといふことも、ほぼ予想されておりましたので、そうなった場合、NTTも苦しい立場に立つことも少くあるまい。と、すれば、われわれOBが微力ながらNTTの支えとなつて協力していく必要があるということと、この協議会を発足させたのであります。

その後公社が民営化したことによって、NTTの現役職員も、この会に加入できるようになりまして、今ではOB、現役一体となつて、NTTへの協力的団体としての協議会

を運営しているのであります。

この会の組織は、中央本部・地方本部（NTT総支社のエリアにほぼ一致）および各県支部（NTT県支社のエリアと一致）との三段階になっております。

入会金は不要で、会費は個人会員の場合はOB・現役職員とも、年一五〇〇円、また、家族は一人年一〇〇〇円となっております。

協議会といったような団体は、会員の数が多ければ多いほど、その団体の力も大きくなるものであります。

未加入の方が、どしどしご入会下さることをお待ちしております。

入会手続は各県協議会事務局（電友会事務局と同居）に入会申込書がありますので、お電話などいただければお送りすることになっております。

新しい年度を迎えましたのを機会に、皆さんの多数のご加入を期待しております。どうかよろしく。

随

筆



台湾の旅（一）

猪 谷 嘉 夫（高松）

台湾へは私の海外旅行で最後の所と考えていたが、手持ちの数次旅券も有効期間が迫りそれに日一日と老化が進み、何時身心に變調

がきて旅行ができなくなれば、未練を抱いたまま冥途行きになる。と言う訳で昨年十一月に台湾一周の旅に出かけた。

台湾旅行は日本の晩秋か仲春が最適。冬期は北部地方が雨期で雨が多く、夏期は南部でスコールがよくあり台風の訪れることもある。

通貨は元を単位としておるが表示は圓を用いておる。通貨統制も相当厳しいようであるがこれは表面上のこと、商店やデパートでも日本円が通用する。従つて台湾貨の両替は最少限に止めた方がよい。換算率は台湾円一に対し日本円約四・五。だから商品の値段に五を掛ければ日本の相場に匹敵する。物価は安い。然しこれは世界一高物価国に住む我々の感触だと思ふ。買物のときは目づらなしに値切る。品物にもよるが一割なら当り前交渉次第では二・三割ぐらい値引きする。

日常語は中国語であるが広東語系である。然し戦前の関係もあつてか年配の人やサービス業に当る人々は日本語を上手に喋れる。

台湾は現在活気に満ち相当繁栄しておる。道行く人の服装も日本と余り変わらず、街には商品が豊富にあり、日常の乗物も中国の自転車の洪水に対し、オートバイやミニバイクが主で乗用車もかなり多い。住宅もコンクリート造りの小ぎれいなものが目につく。こうした近代化の点では中国と格段の差があるようだ。これは自由経済と統制経済の違いによるものか或いは十億の民を抱え、イデオロギーに囚われて小回りの利かない中国と、人口二千万で容易に時流に対応できる台湾の差かも知れないかと思つた。

「味齋」という店

岡 田 恂三(松山)

毎年十二月になると、同級会を兼ねて忘年会を行うことが慣例となつてゐる。今年も廻り持ちの幹事日さんから、早々と十一月後半にその日時、場所等の連絡があつた。十二月五日午後六時・場所「あじさい」がそれであつた。

太平洋戦争の最中、昭和十九年六月繰上げ卒業した学校の県人ら十一名の同級生の集りであつた。同級生はこのほか地方にも二・三人はいるが当初から参加しなかつた。始めた発端は一番年長のSさんが定年退職するに際しての送別激励会であつた。その後何回か回数を重ねて全員退職し、今年は再就職先も定年でこの三月でやめるといふ淋しい話しもちらほら耳にした。

話しは脇道にそれたが、当日、私はあらかじめ教えられた目標をたよりに、「あじさい」なる店を尋ねた。表通りから裏へ入ってネオン街を少し行くと、ひとときわかるいネオンがあり、その筋向いに「味齋」と表示されたいかにもこじんまりとした店があつた。私はその文字に意外な感じがした。

宴たけなわになつた頃、年令四十才前後、着物は地味づくりであつたが、顔に強くひいたアイシャドウが印象的な女将が現われ、形通りの挨拶後、ひと通りお酌をして廻つた。その折、私は店の名前について聞いたところ、女将は「お客さまに味をたてまつるといふ意味でつけました」と云われた。

もともと、「齋く」といふのは神道に使わ

れる用語で、「心身のけがれを淨めて神に仕える」という意味を持つてゐる。それにしても、「奉る」を使わず、あえて「齋る」を使ったのは、多分慎しんで料理をたてまつるといふ女将の心意気ではなからうかと、ひとり感心したものだつた。

電電徳島健歩会の動き

河野 幸雄(小松島)

歩くことにより常に明るい精神と健康な身体を保持するとともに、会員相互の親睦をはかる目的で電電公社の退職者を対象として、昭和五十三年九月に「電電徳島健歩会」が結成された。発足当時四十数名であつた会員も現在では、男子三十九名女子二十一名の六十名となつた。健歩会は会員の総意で作られた年間計画表により毎月一回(第三又は第四日曜日)名所旧跡等を尋ねている。歩行距離は十軒程度としてゐる。会員は月一回の健歩会をお互いに誘い合い、楽しい思い出の一日を過している。

その最近の模様を紹介すると次のとおりである。晴天に恵まれた九月二十八日(第四日曜日)八多の五滝と如意輪寺を見るため徳島駅前発五滝行の徳島市営バスに、揃いのリュックサックを背負つた会員二十七名(男子十二名女子十五名)が童心に帰つた気持ちで乗り込んだ。私達が乗つた市営バスは、自動車が混雑する市街地を過ぎ、黄金色の田園地帯を進むこと約三十分で終点五滝に到着した。下車後は三々五々に連れだつた会員達は、栗、柿、梅等の木を左右に眺めながら歩き、四十分程度で最初の滝、雄鴨の滝についた。五滝

は、勝浦川の支流園瀬川にかかる滝で雄鴨、雌鴨、御来光、布引、象(蔵王)の五つの滝からなり高さはいづれも十米を超えている。たくさんの樹木で日中でも暗く感じる細い道を森林浴をしながら登つて見る五滝はそれぞれの良さがある。なかでも最も奥にある象の滝が大きく見事であつた。その象の滝の前で記念写真を撮り昼食を取つた。

約三十分して象の滝に別れを告げ整備された四国のみち(約一・五米巾)を次の目的地如意輪寺に向つた。あせび、つっじ、もみじ、つばき等の樹木が、道の両側に繁りおいしい空気を腹いっぱい吸いながら登ること四十分程で婆羅尾峠に通ずる自動車道路に出た。その自動車道路を三十分程下ると、古くから「中津峰のお観音さん」と親しまれてゐる如意輪寺に着いた。お寺の境内は約一万平方メートルあり本堂、大師堂、護摩堂、仁王門、鐘楼などがあつた。本尊の如意輪観音は国の重要文化財に指定されてゐることである。本堂の前では般若心経を唱える者、線香や、ローソクをあげる者、鐘をつく者等、それぞれがお参りをしている姿を見るとその雰囲気は何んとも云えない気持ちで身が引き締まる思いがした。お参りも終り、広い境内の老樹を眺めながら散歩し休息した。

約三十分して下山をはじめた。近道をとしい整備されてゐない旧道をつまづきながら進むこと一時間、全員無事元気に多家良バス停留所に到着した。

帰りのバスの中では、約十二軒完歩の喜びを話し合い、全員次回(十月十九日)の雲辺寺参りの約束を交わし、各人最寄りの地点で下車し解散をした。

以上

フ
ゲ

門 屋 俊 春 (松山)

愛媛県の宇和ノ海に面した村の駐在所で、私が生まれたのは、関東大震災の前年の一月でした。

平和な村の駐在所では、大した事件があるわけでもなく、防犯その他の任務に変わりはないが、晩秋初冬から二月まで「フグ」の旬であり、三、四月の産卵期になると毒が猛烈になる。そのため素人料理では、フグ中毒死がでることがあり、漁業のフグの水揚げについて特別の厳しい取締りがあった。

縄文時代の貝塚から、フグの骨が見つかることからフグは、大昔から食用にされていたとみられ、元禄期にフグ汁を喰ったことが芭蕉の手紙にも書かれている。

「あら何ともなきやきのうは過ぎてふぐと汁」
フグ料理専門店では、試験にパスした者だけに免状がおける仕組みになっている関係から、その店では中毒の危険がないが、素人料理はあぶない。致死量わずか二・五ミリグラム。たった一尾のマフグのもつ毒は、青酸カリの十三倍も強いテトロドロンである。三十三人があの世にいらしてしまおうだから全く恐しい。フグの学名は「テトロドロン」という。

フグの刺身は、あたかも繊細なガラス細工の花弁のように薄く削ぎ、大皿に、大輪の白菊が咲き開いたように綺麗に貼っていく。

白磁の皿の絵模様を半透明の白身が薄く透かし、まさに芸術品そのもの。ポン酢に、薬味として紅葉おろしや、さらし葱を用いる。上戸にとって、フグの季節は最高であろう。

「こんなウマイフグ刺を……」

「イヤー、親父の遺言でネ、ハハ……」

チクショウ、彼奴と飲む時は夏でしかもビールに限る。

酒を愛する私であるが、中国の文人、蘇東坡の「真に一死に価す」とまでたたえられたフグのうまさは全く知らない。宮中ではフグは「ごはっと」。

私の記憶にないその当時を、戦後配給の酒を美味そうに飲み乍らポツリと話した亡父は、漁民から「フグ巡査」と煙たがられ、恐れられていたと云う。

これからも私には「その味死に値す」フグを、食べてみようかという決心はつかないだろう。アジやカレイの刺身がお美味しい。

近藤寿一氏著「わが道」を読んで

穴 吹 義 教 (松山)

近藤さんと知り合いになったのは、二昔前のことだった。私が八幡浜で勤務していた頃、隣の宇和島の次長になられた関係上、公私ともに向う三軒のお付合いをいただいた。

物静かだが、シンの強い折目正しい先輩だ、と敬愛申し上げて今日に至っている。

このたび、仕事の折りにふれて丹念に書き溜められた草稿が出版された。通読して、着飾らない体験記、という感が強い。お人柄がにじみ出ている。仕事一筋に歩まれた著者の足音が聞えてくる。どちらかといえば、同輩が敬遠するような苦難を黙々と克服された姿が、そこかしこ鮮明に描かれている。

本書の前半は、経営随想、後半は、労使慣行の判例ダイジェストとなっていて、多少記述は硬いが、読み応えがする。

退職後に書物を出し、N T Tの後輩の参考に供したい、という念願を達成された情熱と勇氣には、唯々頭が下がる。限定部数のため、少数の知人に配られた由、恩恵に浴した者として、読後感を書かせていただいた。

巻頭のことばを、現役の弁護士が寄稿されていることだけでも、いささかユニークな自分史といえよう。

投 稿 規 程

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 五月二〇日
- 原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編 集 後 記

▽三月末で連合会事務局を退くことになりました。会報第三十五号から本号まで皆様の暖かいご協力をささえられて年四回発行を続けることができました。まことに有難うございました。あとは高市沖見さんが引継いでくれます。一層のご支援をお願いします。(渡部)

電友会四国連合会会報 第五八号

昭和六二年四月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(二七九〇)

N T T四国総支社内

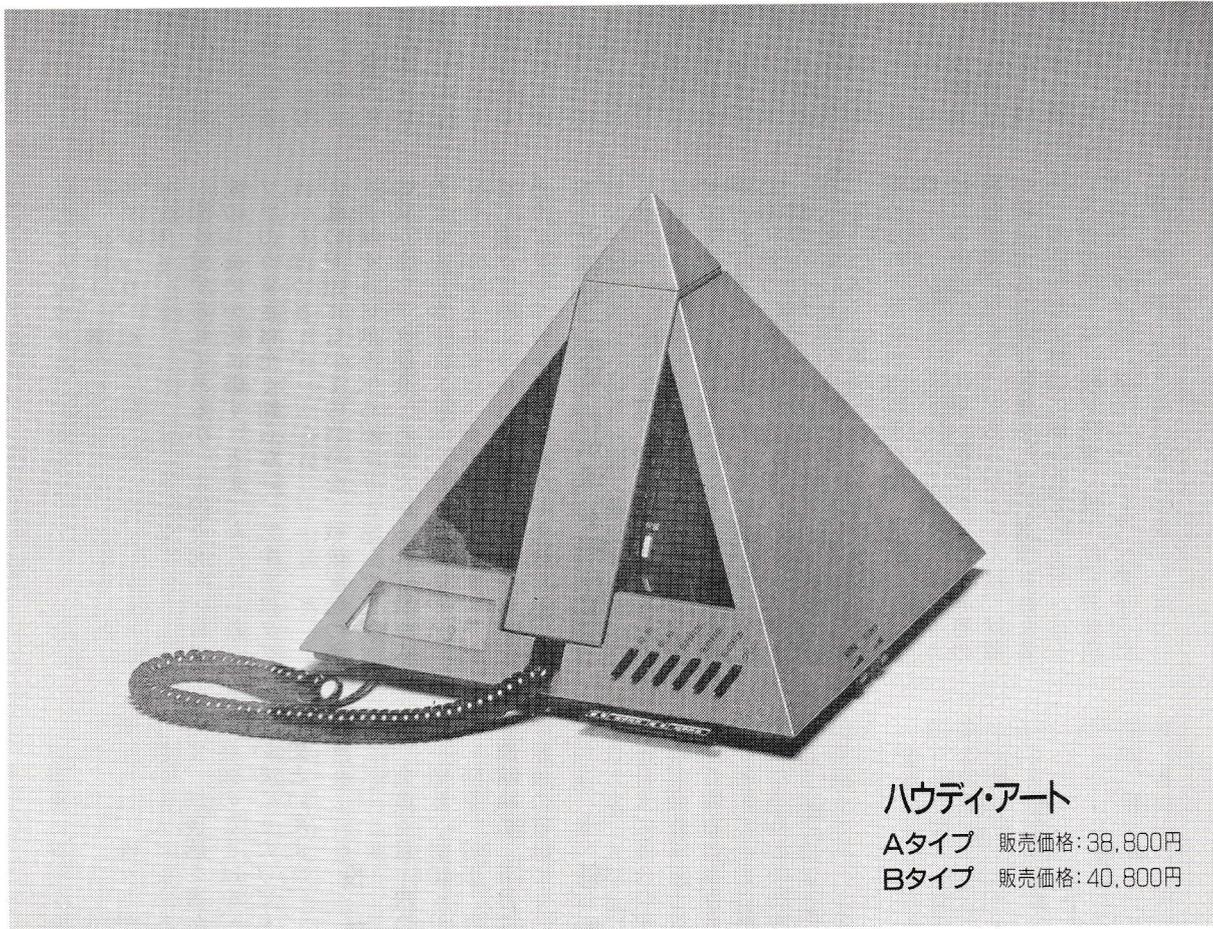
電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社

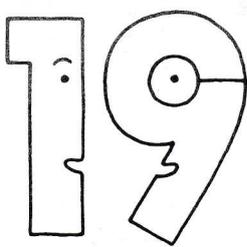
NTT

ハウディ・アート

新発売



ハウディ・アート
Aタイプ 販売価格: 38,800円
Bタイプ 販売価格: 40,800円



19日は「トークの日」

ほんとうは、毎日が「トークの日」なのですが。

みんなでコミュニケーションを考える日、それが「トークの日」。
といっても、けっしておおげさなことではありません。わたしたちのまわりにいる人たちや、住んでいる街、そして未来にもっともっと目をむけ、お互いがふれあい、コミュニケーションを深めていく、そんなきっかけの一日にしたいと思うのです。